

## ○直払い交付金で集落の用水を、将来に引き継ごう

### 1. 集落協定の概要

市町村・協定名	群馬県桐生市黒保根町 清水 <small>きりゆうしくろほねちようしみず</small>			
協定面積 9ha	田(100%) 水稻	畑	草地	採草放牧地
交付金額 167万円	個人配分			0%
	共同取組活動 (100%)		水路等の維持管理経費 積立金	85% 15%
協定参加者	農業者 37人			開始：平成12年度

### 2. 取組に至る経緯

清水集落は、急傾斜で小規模な水田での米作りが中心の集落である。貴重な用水は、集落から約5km上流の山間部から取水しており、山腹を通過する水路は素堀で漏水や落ち葉の堆積、大雨の時には枝葉で流れがせき止められ決壊することもあった。水路の維持に大変な労力が必要であるが、集落の農業者の減少と高齢化によって、困難になってきていた。

そのような状況のなか、集落の農用地が直接支払交付金の対象となったため、集落で話し合いを行い、平成12年に関係耕作者が参加して協定を締結することになった。

### 3. 取組の内容

協定期間の5年間の用水改修計画をたて、集落の総会で決定している。計画には、積立年と積立金額、工事年と工事箇所・工事金額を盛り込み、交付金を効果的に使うようにしている。工事は、業者委託または直営の場合があるが、協定参加者で現場の見回り、労務提供など積極的に行っている。

清水集落は、市道沿いに地域住民によって約千本のヤマツツジが植栽され「清水つつじ街道」として愛されており、景観意識の高い集落であり、多面的機能増進活動ではコスモスの作付けに取り組んでいる。



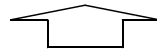
水路の改修状況



景観作物の作付け

**【集落の将来像】**

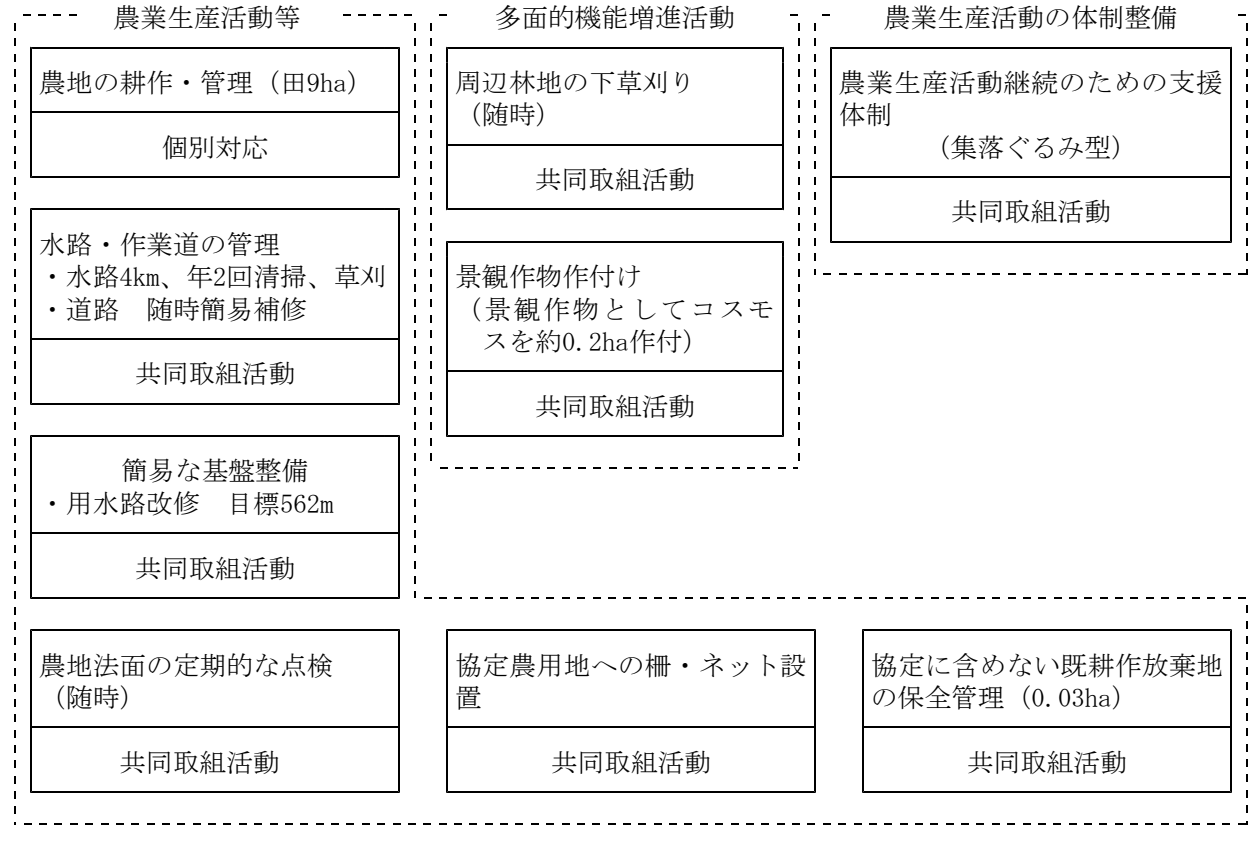
- 集落にとって大事な清水用水を改修して、水路の維持労力を軽減し、水田を保全していく。
- 農作業機械の共同利用を推進して農作業の低コスト化を進める。
- 清水つつじ街道の秋の景観を、コスモスで彩り、景観形成をしていく。



**【将来像を実現するための活動目標】**

- 水路管理を継続し、補修・改修の計画的な実施。
- 麦作組合を中心に刈り取り等の作業受託を進める。
- 景観作物を作付け、集落の景観形成を進める。

**【活動内容】**



**4. 今後の課題等**

高齢化が進むなか、集落内で助け合いながら農作業を行ってきた。3期対策より、集团的サポート型に取り組むことになり、将来に向けて農業生産活動を継続していく体制が整った。

今後も用水の改修、維持について集落で話し合い、計画的に実施し、貴重な用水を将来に引き継いでいく。

**【第2期対策の主な成果】**

- 用水路の改修 (目標562m、H21までの実績1,515m)
- 遊休農地への景観作物の植え付け (0.2ha)
- 機械の共同利用 (トラクター 当初2ha、H21実績3.3ha)
- 担い手への作業受委託 (刈り取り～乾燥調整 5.5ha)